



暦の上では春・・・1日1日を大切に

今年は暖冬と言われていますが、朝晩は寒く、市内でもインフルエンザが流行っています。十分な睡眠をとるとともに手洗いうがいを徹底するなど、健康に十分ご留意願います。

さて、2月4日は、暦の上では春となる「立春」。この前、全校朝会で節分の話をしました。「節分」とは、季節と季節の分かれ目のことを指します。人々は昔からこの季節と季節の隙間（季節の変わり目）に、体調を崩したり気持ちの乱れが生じたりしないよう豆まきなどの行事を行ったそうです。また、立春を過ぎ、最初に吹く強い南風を「春一番」と呼びます。この温かい風に誘われて、木々が芽を吹き始めます。まさに春を呼ぶ風です。

1月が過ぎ、閉校式や卒業式までのカウントダウンが始まる頃となりました。6年生は、一日一日と少なくなっていくに連れ、卒業の喜びと別れの寂しさの入り交じった複雑な気持ちになってきます。だからこそ、「一日一日を大切にしなければ・・・」という思いを強くしてほしいと思います。

春一番とともに、春へのカウントダウンは一層速まると思いますが、6年生は一生一度の小学校卒業の日に向けて最後のまとめを、下学年はそれぞれの学年のまとめをしっかりと行い、次年度へとつないでいきたいと考えています。引き続き、ご協力をよろしく願います。



力を出し切った「ジュニア駅伝」大会!! そして・・・金管フェスティバル!!

1月25日(土)、上野公園で五條市ジュニア駅伝大会が行われました。宇智小学校では、3年生以上で希望した51名が放課後の苦しい練習を乗り越え、当日を迎えました。途中であきらめずに全力を出し切り、それぞれが完走した喜びと充実感を味わうことができました。

また、横断幕にメッセージを書いてくれた児童の姿もあり、絆の深まりを感じました。

保護者の皆様には、寒い中のご声援、有り難うございました。また、参加記念品をご用意頂きました宇智地区体育協会様に、心から感謝申し上げます。



また、翌26日(日)には、奈良県金管フェスティバルが大和高田市のさざんかホールにて行われました。宇智小メロディーキッズが、おそろいの赤いバンダナで颯爽と登場！今までの練習の成果を発揮し、素晴らしい音色を大きなホールいっぱいに響かせてくれました。また、県内の他の小学校の演奏を聴くこともでき、音楽の輪が広がりました。送迎等、ご支援いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



ふるさと学習の取組

それぞれの学年では、地域に残る文化や史跡を調べる学習を通して、ふる里を愛する気持ちを高める「ふるさと学習」の取組を推進しています。



その一環として、1月9日(木)には1年生が荒木神社に、1月14日(火)には2年生が笠の辻地蔵に行き、古くからある地域の歴史教材について学びました。



2月4日(火)には、2・3年生が安生寺を訪れ、博物館の方から追儺会（ついなえ）の歴史聞いたり、お寺の中を実際に見せていただいたりしました。追儺会は鬼払いの行事とされていますが、くわしい記録は残っていません。子どもたちも手作りのお面をかぶり、遠い昔の人々も行っていた行事に思いを馳せながら、豆まきを行いました。多方面からご支援いただきました地域の皆様へ感謝申し上げます。

